

平成26年度  
相生市行政評価  
第三者評価報告書

平成26年9月

相生市行政評価第三者評価委員会

## 目 次

|   |              |    |
|---|--------------|----|
| 1 | 目的           | 1  |
| 2 | 委員構成         | 1  |
| 3 | 委員会開催状況      | 1  |
| 4 | 評価対象         | 2  |
| 5 | 評価視点         | 3  |
| 6 | 評価結果に対する総括   | 4  |
| 7 | 評価ヒアリング個別シート | 5  |
| 8 | 評価対象事業 結果比較  | 13 |

## 1 目的

行政評価をより一層、客観性及び信頼性を高めるため、外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を、提言することを目的として第三者評価を実施いたしました。

## 2 委員構成

|      | 氏 名    | 摘 要           | 住 所 |
|------|--------|---------------|-----|
| 委員長  | 横山 直子  | 大阪産業大学経済学部 教授 | 神戸市 |
| 副委員長 | 米田 浩一郎 | 公認会計士・税理士     | 姫路市 |
| 委 員  | 香島 英彦  | 相生商工会議所 専務理事  | 相生市 |
| 委 員  | 三住 浩文  | 那波連合自治会会長     | 相生市 |
| 委 員  | 高根 勝三  | 教育関係者         | 相生市 |
| 委 員  | 間山 珠美  | 公募委員          | 相生市 |

## 3 委員会開催状況

| 開 催 日                               | 会 議 名 等                          | 主 な 内 容                |
|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------|
| 平成 26 年 8 月 4 日 (月)<br>13:00~17:00  | 平成 26 年度第 1 回<br>相生市行政評価第三者評価委員会 | 行政評価ヒアリング<br>( 2 事 業 ) |
| 平成 26 年 8 月 8 日 (金)<br>13:00~17:00  | 平成 26 年度第 2 回<br>相生市行政評価第三者評価委員会 | 行政評価ヒアリング<br>( 4 事 業 ) |
| 平成 26 年 8 月 11 日 (月)<br>13:00~17:00 | 平成 26 年度第 3 回<br>相生市行政評価第三者評価委員会 | 行政評価ヒアリング<br>( 2 事 業 ) |

#### 4 評価対象

ヒアリングの対象は、「3年以上経過し慣例的になっている事業」、「法定受託事務以外の事業」で、今後の方向性を決定する上で外部委員の意見を取り入れたい事業として、各部課より選出された事業及び事業規模や市の裁量の大きさなどを鑑みて事務局にて選定を行った下記の8事務事業をヒアリングの対象事業といたしました。

#### 平成26年度第三者評価対象事業

| 事 務 事 業 名                 | 部 課 (室) 名           |
|---------------------------|---------------------|
| 地 域 づ く り 協 働 事 業         | 企 画 総 務 部 企 画 広 報 課 |
| ま ち づ く り 活 動 支 援 事 業     | 市 民 生 活 部 地 域 振 興 課 |
| 産 業 活 性 化 緊 急 支 援 補 助 事 業 |                     |
| ガ ラ ス 工 房 運 営 事 業         | 市 民 生 活 部 環 境 課     |
| 救 急 医 療 情 報 キ ッ ト 配 付 事 業 | 健 康 福 祉 部 健 康 介 護 課 |
| 市 営 住 宅 維 持 管 理 事 業       | 建 設 農 林 部 建 設 管 理 課 |
| 学 校 図 書 館 充 実 事 業         | 教 育 委 員 会 学 校 教 育 課 |
| 公 民 館 活 動 事 業             | 教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課 |
| 8 事 務 事 業                 |                     |

## 5 評価視点

下記の具体的視点により評価を行いました。

### (1) 成果の視点

- ・評価指標の設定は妥当か、関連性があるか。
- ・指標設定が困難な場合において最適なものを代替指標としているか。

### (2) 妥当性の視点

- ・市が実施する目的は明確か、国・県や民間等との役割分担の観点から当該事務事業を市が行う妥当性・必要性はあるか。
- ・市民ニーズは、高いか。

### (3) 有効性の視点

- ・評価指標の数値は計画値を達成しているか。
- ・計画・目標設定が高すぎないか、あるいは低すぎないか。
- ・成果を向上させる努力をしているか、向上させる方法はあるか。
- ・市民サービス向上の改革改善効果が見られるか。

### (4) 効率性の視点

- ・コストを削減する努力をしているか、削減する余地はあるか。
- ・受益者負担の設定は可能か、見直しする余地はあるか。
- ・委託や指定管理者制度の導入、補助事業化など、サービスを下げずに、よりコストの低い手段へ事業形式を変更できる可能性はあるか。
- ・当該事務事業が個別目標・施策実現のための手段として最適か。

### (5) 総合、方向性の視点

- ・過去の行政評価結果が生かされて、PDCAサイクルが機能しているか。
- ・課題・懸案事項に対する今後の展開方針は妥当か。
- ・今後に向けての成果向上や経費削減など、具体的方策は妥当か。

## 6 評価結果に対する総括

本委員会（行政評価第三者評価委員会）において、平成 26 年度は 8 事務事業についてヒアリングを実施し第三者評価をおこなった。今回の 8 事務事業に関するヒアリングは、地域経済、財政、環境、まちづくり、学び、定住、安全・安心、地域の課題解決に関するもの等、今後の方向性を考える上で重要なものが含まれており、ヒアリングを通して丁寧に見ることは意義深いといえる。今回のヒアリング実施を通じて注目したいことの一つは、ヒアリング手法の視点からみて、ますます積極的な取り組み姿勢がみられ、客観的に評価することのできる数値、指標等が丁寧に示されているという点であり、この点について高く評価できる。一方、それぞれの事業の目的について、一層わかりやすく明確に示されるとともに、有効性の指標、数値についてより工夫がおこなわれることを期待したい。また、本ヒアリングの中から、住民の満足度をより高めるためにどのように展開することが有効なのかについて議論が深まったという点にも注目したい。この点は今後の計画にどのようにつなげていくのかという大きな課題ということでもあり、一層、着目することが重要である。今回の 8 事務事業に関するヒアリング実施の中から、さらに改善すべきであると考えられるいくつかの点を以下に述べる。

第一に、上述のように、事業を通しての効果を今後の計画にどのようにつなげていくかということが大きな課題のひとつであるため、それぞれ目標を一層高くもって、発展的に事業につなげていくことができるよう広い視野で検討を深めることが重要である。その際に、住民意識の高まりは重要であり、住民の意識がどの程度高くなってきているのかについて客観的に、正確に示すことが重要である。

第二に、（第一の点に関連して）特に、重要な事業については、長期的計画を立て、長期的目標を示す必要があるという点である。どのように展開していくのかを明確に示し、よりよいまちづくり全体につながるよう工夫することが重要である。

第三に、事業の効果が低い状況の場合には、効果の大きさ要因についてきめ細かく分析する必要があるという点である。効果に影響を及ぼす要因がしっかりと明らかになることによって、より効果的な方策を立てることができるのである。

相生市行政評価第三者評価委員会  
委員長 横山 直子

## 7 評価ヒアリングシート

|  |  |
|--|--|
| 事務事業名  | 地域づくり協働事業  |
| 評価結果   | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>市民同士が互いに協働して、自主的に地域課題の解決及び地域活性化などを行う活動を支援する本事業の必要性は認められるため継続とする。</p> <p>しかし、申請件数が少なく有効性が高いとは判断できない。事業の目的は良いので、内容をPRし、申請数の増加に繋げることが必要である。</p> <p>また、市役所の事務分担として企画広報課が所管すべき事業なのか検討が必要。</p> <p><b>《指摘事項》</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○事業の目的、内容をわかりやすくPRする必要がある。</li><li>○市役所の事務分担を検討すべき。</li><li>○コミュニティ推進員との連携を図る必要がある。</li><li>○まちづくり活動支援事業との連携を検討すべき。</li><li>○申請数が少ないことに関する要因について分析することが重要。</li><li>○市民が地域課題解決策等を積極的に挙げることができ、また、多くの提案をおこなうことができるような工夫が重要である。</li></ul> |  |

|  |  |
|--|--|
| 事務事業名  | まちづくり活動支援事業  |
| 評価結果   | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>本事業は団体育成を目的に相生が元気になるまちづくり活動に対して助成を行っており、支援終了後も活動を継続している団体が多く、非常に有効な事業と考えられる。住民意識も高まってきており、より発展的な事業となるよう他の事業との連携も視野に入れながら継続とする。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○申請期間を検討すべき。</li> <li>○事業の目的、内容をわかりやすくPRすべき。</li> <li>○地域づくり協働事業との連携を検討すべき。</li> <li>○助成終了後の支援として追跡調査を行い、活動の場の提供や、他の事業との連携などを行うべき。</li> <li>○事業内容は有効的だが、申請数が多いとはいえないため、現状を分析し効果的なPRを図る必要がある。</li> <li>○住民の意識の高まりを発展的に事業につなげることができるよう、目標を一層高くもち、よりよいまちづくり全体につなげることが重要。</li> </ul> |  |

|  |  |
|--|--|
| 事務事業名  | 産業活性化緊急支援補助事業  |
| 評価結果   | <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>3 カ年事業として地域経済の活性化にも繋がり、当初の目的を達しつつあるため、廃止とする。</p> <p>しかし、毎年申請数が増えており、市民ニーズも高いと思われるため、今後別の形でも事業が継続できないか検討を行う必要がある。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定住施策など形を変えて実施すべきか検討が必要。</li> <li>○有効性の指標を工夫すべき。本事業があることによる有効性の大きさを明確に示すことが重要。</li> <li>○本事業の効果を地域の経済のさらなる活性化にしっかりとつなげることが重要。</li> </ul> |  |

|   |  |
|---|--|
| 事務事業名   | ガラス工房運営事業  |
| 評価結果  | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>環境学習の一環として行われている本事業は、美化センターで行われるガラス工房教室、その他の出張教室、イベント参加など参加者数も増加傾向であり、参加者の環境意識も高まっている。</p> <p>しかし、市として環境学習をまちづくりの一つの期間として考えていくのかなど、長期的なビジョンをもって取組む必要があると考えられるため、今後の事業のあり方について検討を行いながら継続とする。</p> <p><b>《指摘事項》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リサイクル事業として長期計画（ビジョン）が重要。</li> <li>○美化センターから工房を移設すべき。</li> <li>○リサイクルガラスを用いて、まちづくり事業、生涯学習事業と連携すべき。</li> <li>○コストに対してどのくらいの効果が上がっているか費用対効果の検証が必要である。</li> <li>○市内の空き店舗等で教室を行うなど実施方法を工夫すべき。</li> <li>○環境意識の高まりについてきちんと確認し、どのくらいの効果が生まれているのかを明確にすべき。</li> <li>○目標値を明確にし、視野を広げて長期的計画を立てることが重要。</li> </ul> |  |

|  |  |
|--|--|
| <p>事務事業名</p>   | <p>救急医療情報キット配付事業</p>   |
| <p>評価結果</p>  | <p><input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>拡大    <input type="checkbox"/>縮小    <input type="checkbox"/>廃止</p> |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>少ない経費の中で高齢者の安全安心を確保する事業であり非常に有効な事業であるため継続とする。</p> <p>現在は一人暮らしの高齢者を中心に配付を行っているが、今後は高齢者夫婦の世帯なども含め、普及率アップに向けた対策が重要である。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○普及率促進のために病院とも連携すべき。</li> <li>○対象者の拡充を検討すべき。</li> </ul> |  |

|   |  |
|---|--|
| 事務事業名   | 市営住宅維持管理事業   |
| 評価結果  | <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>耐用年数、耐震基準を満たしていない状況から、現状のまま市営住宅を維持するには大きなリスクがある。リスクを下げるためには入居者数を減らす必要があることから縮小とする。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○財政状況を見据え、建て替え計画を含めた市の方針を明確にすべき。</li> <li>○修繕費を減らし建て替えの予算に回すべき。</li> <li>○入居者数を減らすためにも新たな募集を一時停止にする等の検討が必要である。</li> </ul> |  |

|   |  |
|---|--|
| 事務事業名   | 学校図書館充実事業  |
| 評価結果  | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>緊急雇用対策として実施された事業であり当初の目的とは異なるが、本に親しむ環境づくりとして子どもにとって非常に効果の高い事業となっているため継続とする。</p> <p>しかし、中学校では小学校ほどの効果が表れていないので、中長期的な計画を策定し、中学校でも効果の拡大を図る必要がある。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指標について、貸し出し冊数だけでなく、利用人数、読解力、問題解決力の向上などを指標に設定し、効果の分析を行うべき。</li> <li>○コストを抑制しても大きな効果を生むことができるよう検討が必要。</li> <li>○継続するにあたり、今後目指す方向性を明確にすべき。</li> <li>○効果についてよりきめ細かく分析し、長期的な目標についても明確にすることが重要。</li> <li>○本事業の効果を一層高めるためには、広い視野でみることも重要。</li> </ul> |  |

|   |  |
|---|--|
| 事務事業名   | 公民館活動事業  |
| 評価結果  | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>若い世代をターゲットにコミュニティの拡大を図るという課題はあるが、生涯学習の場、地域コミュニティの拠点として公民館活動は有効性が高いと考えられるため継続とする。</p> <p>ただし、アンケートなどでニーズを随時調査し、講座内容をより住民の要望に沿った形にする必要がある。</p> <p>《指摘事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講座の数が多く精査が必要。</li> <li>○指標を参加者数で表すのではなく、教育効果がどれだけ上がったのかなどアウトカム指標で表すべき。</li> <li>○若い世代をターゲットにコミュニティの拡大を図るのであれば、若い世代に合った講座内容の見直しが必要。</li> <li>○講座の見学をしやすくする等、住民にとって内容が分かりやすくなる工夫をすべき。</li> <li>○住民の満足度を高めることができているか、きめ細かく検証することが重要。</li> <li>○目標を一層明確にし、長期的計画としてどのように考えているのかについても示すことが重要。</li> </ul> |  |

## 8 評価対象事業 結果比較

| 方向性 | 担当課 | 行革推進委員会 | 第三者評価委員会 |
|-----|-----|---------|----------|
| 拡大  | —   | —       | —        |
| 継続  | 7   | 4       | 6        |
| 縮小  | —   | 3       | 1        |
| 廃止  | 1   | 1       | 1        |
| 合計  | 8   | 8       | 8        |

| 事務事業名         | 担当課 | 行政改革<br>推進委員会 | 第三者<br>評価委員会 |
|---------------|-----|---------------|--------------|
| 地域づくり協働事業     | 継続  | 継続            | 継続           |
| まちづくり活動支援事業   | 継続  | 継続            | 継続           |
| 産業活性化緊急支援補助事業 | 廃止  | 廃止            | 廃止           |
| ガラス工房運営事業     | 継続  | 縮小            | 継続           |
| 救急医療情報キット配付事業 | 継続  | 継続            | 継続           |
| 市営住宅維持管理事業    | 継続  | 縮小            | 縮小           |
| 学校図書館充実事業     | 継続  | 縮小            | 継続           |
| 公民館活動事業       | 継続  | 継続            | 継続           |